

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2011年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。

2. 招集について

- (1) 選手は出場種目の招集完了時刻には必ず招集所にいること。
- (2) 競技者係の指示に従い、ナンバーカード、腰ナンバーカード、スパイクシューズ等の点検を受けること。
- (3) 代理人は認めないが、トラック、フィールドにまたがって同時刻に出場する選手は代理人をもって招集に応じ、代理人はその旨を競技者係に申し出ること。また、競技については本人がフィールド審判に申し出、トラックの方を先に行うこと。
- (4) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなしてとり扱う。
- (5) もし、棄権する場合は必ず棄権届を提出すること。（プログラムの巻末にある）
- (6) 招集時刻は下記の通りとする。

	予選		準決勝		決勝	
	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻
トラック	30分前	20分前	25分前	15分前	25分前	15分前
フィールド	50分前	40分前			50分前 ※棒高跳	40分前 ※棒高跳
					70分前	60分前

- (7) 選手の招集は、雨天走路で行う。
 - (8) リレー競技については、オーダー用紙（予選については受付時、準決・決勝については招集場で手渡し）を各ラウンドともに（予選、準決勝は1組の）招集完了時刻の1時間前までに、変更あるなしにかかわらず競技者係まで提出すること。特に、リレーメンバー以外から起用する場合は必要事項を忘れずに記載すること。
 - (9) 混成競技については、第1日目、第2日目ともに第1種目については競技者係にて上記時間に準じて行う。それ以降の種目については第2コーナーの混成競技控室（テント）で点呼確認後、各競技場所に移動する。（フィールド種目は30分前、トラック種目は15分前に点呼する）
 - (10) 招集場所からスタート地点、跳躍場、投てき場へ行く場合、必ず競技者係の指示に従うこと。
- ## 3. ナンバーカードは、各自登録番号のナンバーカードをユニフォームに付ける。トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集場で競技者係から受け取り、パンツの右側後方につける。なお、走高跳・棒高跳に出場する選手は背部または胸部だけでもよい。

4. 棒高跳用ポール及びやり以外は、競技場備え付けのものを使用すること。なお、やりの検査は、競技開始1時間前までに100mスタート側の倉庫前で行うので持参すること。
5. 走幅跳・三段跳は予選・決勝を行う。予選通過記録は走幅跳男子6m50cm、女子5m20cm、三段跳13m30cmとする。
6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。()内は公式練習の高さ。

男子走高跳	決勝	(1.75)1.80 1.85 1.90 1.93 1.96 あとは3cmずつあげる (1.90)
女子走高跳	決勝	(1.45) 1.50 1.55 1.58 1.61 あとは3cmずつあげる (1.55)
棒高跳	決勝	(3.30) 3.40 3.50 3.60 3.70 あとは10cmずつあげる (4.00)
オープン 女子棒高跳	決勝	(1.80) 2.00 2.20 2.40 2.50 2.60 あとは10cmずつあげる (2.50)
八種競技 走高跳		(1.45) 1.50 1.55 1.60 1.65 1.70 1.73 あとは3cmずつあげる。(2ピット) (1.80)
七種競技 走高跳		(1.15) 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.43 あとは3cmずつあげる。(2ピット) (1.50)

(1)同記録の場合、1位を決めるバーの上げ下げは下記の通りとする。(出場者決定もそれに準ずる。)

走高跳 2cm 棒高跳 5cm

(2)近畿地区出場者決定のため入賞者が6名以上の場合は、出場者決定のための試技を行う。この場合、バーの上げ下げは1位決定と同じとする。

7. トラックのレース順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。以後、組合せは番組編成で行い招集所で発表する。
8. トラック競技においてプラス出場者を決めるとき、その最下位で同タイムが出た場合、レーンの余裕の範囲内で次のラウンドに進める。ただし、レーンに余裕のない場合は判定写真をさらに精査し決定する。それでも判定できないときは同タイム者または代理人によって抽選する。
9. 男子5000mWは30分、女子5000mWは35分を制限タイムとする。
10. 男子5000m、女子3000mはグループスタートにて行う。
11. リレーチームの編成については、ルール通りの表記とする。リレー競技に出場するチームは、上衣同一ユニフォーム、下衣同色で参加しなければならない。
12. ウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により競技場内で行うので補助競技場での投てき練習は一切行わないこと。
13. 使用するスパイクのピンは9mm以下の平行ピンとする。(ただし、走高跳、やり投においては12mm以下とする。)

14. 6位までの入賞者は表彰を行うので、決勝の結果アナウンス後5分以内に中央通路に集合のこと。他の競技と重なり表彰に出られない場合は代理人を出すこと。また、優勝校は決勝結果のアナウンス後、すぐにバックスタンド掲揚柱まで部旗を持参すること。
15. 本大会6位までの入賞者(6名、ただし混成競技と競歩は4位まで)は、全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会〔6月16日(木)・17日(金)・18日(土)・19日(日)大阪長居陸上競技場〕に出場する資格を得る。
16. 競歩競技においては別ナンバーカードを使用することがある。
17. その他
 - (1)選手といえども自分が出場している時以外は、応援または付添のために競技場内に立ち入らないこと。
 - (2)本部席前は通行を禁止するので、許可された者(補助員)以外は通らないこと。(競技場見取り図を参照すること)
 - (3)顧問及び引率責任者(代理)の出席(審判)なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員の受付を必ず通過すること。
 - (4)メインスタンドのロイヤルボックス席並びに記者席には立ち入らないこと。
 - (5)テントの設置、旗・横断幕の貼り付けは、すべてのスタンド(メイン、バック、サイド)で中段通路より上部とする。
 - (6)スタンド等における各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。
 - (7)近畿各府県の申し合わせ事項として、リレー種目での集団応援及び、フィールド競技での集団の声かけを自粛すること。
 - (8)指導者からコーチングを受ける時は指定された場所で受けること。
 - (9)商標規制については日本陸上競技連盟規則に準じる。
 - (10)サブトラックでは、メディシンボールやチューブの使用や、トラック上に競技場備え付けの用具以外は設置してはいけない。また、公園内での用具使用については、公園内使用規定に準ずるものとする。
18. 近畿地区予選会の申込みに関する一切の書類は、第3日目大会終了後、必要事項を記入して直ちに提出すること。ただし、出場認知書については、以下に送付すること。

送付先

〒616-8353 京都市右京区嵯峨大沢柳井手町 5-22

京都府立北嵯峨高等学校内

山瀬 純 先生 宛

期限

平成23年6月9日(木)